

職員の新型コロナウイルス感染症患者の発生について（報告）

本日、燕・弥彦総合事務組合の職員が新型コロナウイルスに感染していることが判明しましたのでお知らせいたします。

なお、当該職員は、感染の可能性が疑われたときから自宅待機をしているため、濃厚接触者に該当する職員はいません。また、当該職員の業務を原因とした市村民の皆様への感染拡大の可能性は低いものと捉えております。

ご迷惑とご不便をおかけすることに対し、心よりお詫び申し上げます。

今後とも、感染予防と感染拡大の防止に努めてまいります。

【概要】

1. 判明日 令和4年2月14日(月)
2. 年代性別等 40歳代男性
3. 経過説明 2月9日(水) 当該職員の家族が通う関係者から感染が確認されたため抗原検査を実施し陰性を確認。以後、自宅待機とする
2月10日(木) 当該職員の家族が発熱。陽性が判明
2月13日(日) 当該職員が発熱。PCR検査を実施
2月14日(月) PCR検査の結果、陽性と判明する

令和4年2月14日

燕・弥彦総合事務組合

管理者 燕市長 鈴木 力